

◆ 文語の苑主催のシンポジウム (於 東洋大学)

- 第一回 平成二十三年十一月二十七日 「文語のすすめ」 お江の手紙を読む
- 第二回 平成二十四年十一月二十五日 森鷗外生誕百五十周年記念 鷗外訳「即興詩人」の魅力
- 第三回 平成二十五年十一月二十四日 尾崎紅葉と泉鏡花
- 第四回 平成二十六年十一月九日 日本の文化伝統と文語詩
- 第五回 平成二十七年十一月二十二日 文語による紀行文
- 第六回 平成二十八年十一月二十三日 宗教と文語
- 第七回 平成二十九年十一月十二日 文語の世界に現れた妖怪
- 第八回 平成三十年十一月十一日 日記 平安朝日記、一葉日記、漢文日記等
- 第九回 令和元年十一月十日 文語紀行文の書き方 奥の細道と方丈記

文語の苑の関係する地方シンポジウム

平成二十四年大阪「日本の文化の継承と発信」。平成二十六年福井「越前と若狭 ゆかりの文語」今も心に響く先人の言霊」、和歌山「紀伊の国と文語」。平成二十七年 姫路「文語」この美しい響き」、鎌倉「文語詩について、室蘭「文語の苑シンポジウム」北海道」。平成二十八年 大分「豊の国と古典・文語」広瀬淡窓を中心として」。平成二十九年 大分「文語文のすすめ」。平成三十年 福岡「美しい日本語の響き」、高岡「多文化の共生」。令和元年 岐阜「文語の魅力」。令和三年 三重「文語の魅力再発見」。

◆ 文語教室(括弧内は指導担当者)

- 目黒教室 愛甲次郎
- 鎌倉教室 愛甲他
- 土田教室 (船堀タワーホール) 土田龍太郎

本會の事務聯絡は左の所在地にて行ふ
 〒一五八―〇〇八一 東京都世田谷区深澤二丁目九番八号
 特定非営利活動法人 文語の苑

教材の制作と出版

- ◆ 世にも美しい文語入門 平成二十年一月十九日
- ◆ 文語名文百撰 平成二十年六月に十八日
- ◆ 候文の手引き 平成二十四年十一月十日
- ◆ 明治大正文語五十撰 平成二十五年二月十五日
- ◆ 文語詩集 平成二十七年一月一日
- ◆ 文語紀行文五十撰 平成三十一年二月
- ◆ 日本漢詩五十撰 令和二年十月

文語の花

令和五年八月 発行

『文語の苑』

文語文は口語文と並び日本語の二つのモードの一にして、格調高く、優美なる文章語として永く日本文化の伝統を支へ来たれり。實に文語は我國の世界に誇る偉大なる文化遺産にして、戦前は公的部門はさらなり、学校教育にても重んぜらる。口語文主體の今日に於ても読み書きともに之に親しめる人亦寡からず。已にして古典の日も制定せられ、文語への關心高まる中、之が傳承には、文語を能くする高齢者世代のなほ健在なる間に、その知見を次世代に弘むること、最近その著しき劣化を嘆かざる国語力の恢復と振起にとりても肝要なるべし。

かかる観點より平成十五年問題意識をともしする有志集ひて任意団体「文語の苑」を創設、啓蒙のためホームページの運営、大学との共催などによる文語シンポジウムの開催、「文語文学習会、発表会」、文語教室の運営等の事業を継続し今日に至れり。幸ひ若き世代の参加を得て活動の拡大を得、平成二十七年四月「特定非営利活動法人文語の苑」として装ひを改め、新たな飛躍を図ることとなりたり。庶幾はくは此処に蒔かれたる種を育てて、いづれの日にか大輪の花咲かせむ。

特定非営利活動法人 文語の苑 理事長 土屋 博
ホームページ <http://www.bungonosono.or.jp/>

令和五年八月

以上

◆「文語の苑」年表

平成十五年設立 ウェブサイト設置
平成二十七年四月一日 特定非営利活動法人 文語の苑と改編
同年八月 文語作文コンクール 「岡崎久彦文語賞」を創設
令和四年 ユーチューブ開設

設立以来毎年の総会は、平成二十二年より会場を帝国ホテルとして、筑前琵琶奏者の上原まり氏、元NHKエグゼクティブ・アンナウンサー松平定知氏等による朗読他、何らかの形で文語に関係するイベントを併催して来た。

◆ 特定非営利活動法人 文語の苑役員

名誉会長 愛甲次郎
理事長 土屋 博
副理事長 加藤淳平
副会長 市川 浩
理事 赤谷慶子、車尾薫、兒玉稔、瀧一郎、土田龍太郎、仲紀久郎
監事 中島八十一
特別研究員 高田 友

◆ 發起人 (敬稱略 五十音順 含物故者)

阿久津博康	新井 寛	安東路翠	池口惠観	石川忠雄	石川忠久
石井公一郎	石井 勳	井尻千男	入江隆則	市村真一	犬丸 直
岩田玲文	有働 享	宇野精一	衛藤藩吉	大口道雄	大山勝美
太田 博	奥野誠亮	勝田吉太郎	神谷不二	北岡伸一	木田 宏
行天豊雄	黒田 眞	古田島洋介	小堀桂一郎	近藤鉄雄	櫻井 修
佐々淳行	椎名素夫	諏訪正人	高池勝彦	田久保忠衛	竹村健一
田守榮一	辻井 喬	永池榮吉	萩野貞樹	原田 明	早川聞多
早房長治	伴 紀子	姫井治美	平川祐弘	松下康彦	廣瀬道貞
福川伸次	福田 逸	藤原正彦	牧野 力	宮本四郎	松平定知
黛まどか	山崎富治	山崎正和	三浦清宏	吉國一郎	安嶋 彌
柳谷謙介	山崎富治	渡辺弥栄司	岡崎久彦	岡崎正繼	岡田英弘
米長邦雄	渡部昇一				
尾崎 護	小田村四郎				

会員特典：

ホームページへの文語作品の投稿、添削、上架
毎月メルマガを配信 一定期間後ホームページに掲載
毎年発行の小冊子を進呈
その他、文語関連の各種行事の案内を送付

- 入會申込先
電郵住所 office@bungonosono.or.jp
- 以下に年会費 (五千円) 納入後に入會
- 送金先 ゆうちょ銀行 ○二九店当座預金83632
トクヒ) ブンゴノソノ 記号番号 000200-0-83632
- 三菱UFJ銀行横浜藤が丘支店 普通預金0110844
トクヒ) ブンゴノソノ